

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公民

教科：公民 科目：公民 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～組

教科担当者：（A組：湯浅咲枝

使用教科書：（第一学習社 高等学校 新公共）

教科 公共 の目標：

【知識及び技能】 社会の一員としての教養と公民的知識を深め、社会参画の中で知識を活用し、新たな文化を創造する能力を養う

【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識を現実社会で生かし、自分の頭で考え判断し行動できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 社会の事象や問題を自分自身の問題としてとらえ、理解や課題の解決に向けて努力しようとする姿勢を養う

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元：青年期と自己形成、公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして	①私たちの社会/青年期を生きる私たち ②個性の形成と自主・自律/個人の尊厳と社会的存在としての人間	【知識・技能】 青年期は自立をはかる時期であることを理解できている 【思考・判断・表現】 自己形成の課題に考察ができています 【主体的に学習に取り組む態度】 自己実現に向け前向きに取り組んでいる	○			10
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
	B 単元：法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥社会権/環境権/プライバシー権/自己決定権 ⑦契約と消費者の権利・責任 ⑧さまざまな契約と法 ⑨消費者の権利と責任	①法とは何か/ルールをつくる時の条件/ルールの評価と法の限界 ②憲法と基本的人権/基本的人権と法 ③自由権/精神的自由/人身の自由/経済的自由 ④法の下での平等 ⑤社会権/環境権/プライバシー権/自己決定権	【知識・技能】 先哲の知恵を自己の生き方を応用できる 【思考・判断・表現】 未知の異文化に適応できる能力がある 【主体的に学習に取り組む態度】 伝統を受け継ぐとともに新たな文化創造を試みようとする	○			12
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1	
2 学期	B 単元：民主社会の基本原理解 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉	民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 ・選挙の意義や課題、世論の形成や政党の役割を理解する。 ・主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。	【知識・技能】 政治は身近な生活に直結していることを知る 【思考・判断・表現】 社会的課題に理解ができています 【主体的に学習に取り組む態度】 公民的資質獲得に向け前向きに取り組もうとしている	○			15
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
	C 単元：国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題	①国際社会のしくみと特質/国際法の意義/国際裁判制度 ②国境/国境と領土をめぐる動き ③国際連合の成立	【知識・技能】 主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。 【思考・判断・表現】 国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○		17
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1	
3 学期	単元：国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 国際平和のために日本は何ができるのだろうか	①東西冷戦/大国の覇権争い/脅威の複雑化と多様化/対立と分断をこえて ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割/日本に求められる役割	【知識・技能】 今日の国際社会の特徴について理解する 【思考・判断・表現】 国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○			13
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
							70

令和5年度 年間授業計画

教科・科目名	公民・現代社会	担当者	
使用教科書	現代社会 改訂版 (山川出版社)	学年・クラス	3年A組
単位数	2単位	年間配当時間	70時間

学習のねらい・到達評価等	評価項目と基準
<p>○現代の社会生活への理解を深めさせ、自己実現への道を探る。</p> <p>○現代の政治・経済に関する知識の獲得を通じて、民主主義社会における市民としての自覚をうながす。</p> <p>○現代社会のかかえる諸問題を、広い視野で考えていく基礎・基本を養う。</p>	<p>○定期考査</p> <p>○ノート、プリント等の提出状況</p> <p>○ふだんの授業に取り組む姿勢や意欲</p>

	予定時数	単元・指導目標・指導内容等	評価方法	備考
1学期	22時間	<p>1. 私たちの生きる社会 環境、資源、生命</p> <p>2. 青年期と自己の形成 青年期の意義、両性の本質的平等、人生を「よく生きる」等の理念を理解して実践への道筋を探らせる。</p> <p>3. 現代の民主政治と民主社会の倫理 近代立憲主義の原理と歴史的な広がりについて学ぶ。</p>	<p>○定期考査</p> <p>○授業に取り組む姿勢や意欲</p> <p>○ノート、プリント等の提出物</p> <p>○小テスト</p>	適宜、時事問題を取りあげるなど学習内容の順番については、変更する場合があります。
2学期	28時間	<p>4. 現代の民主政治と民主社会の論理 日本国憲法における基本原理 投票の大切さ(18歳選挙権) 国民主権と議会制民主主義</p> <p>5. わたしたちの生きる社会 現代社会における諸課題と、それを考察するための基本的な枠組みについて学習する。 その中で現代社会を考える上で必要な「幸福・正義・公正」について理解する。</p> <p>6. 現代の経済社会と経済活動のあり方 経済の基本的な枠組みを理解し、日本経済の現状と問題点をふまえ、労働関係、社会保障などといった日本経済が直面する課題について考察する。</p>	<p>○定期考査</p> <p>○授業に取り組む姿勢や意欲</p> <p>○ノート、プリント等の提出物</p> <p>○小テスト</p>	
3学期	20時間	<p>7. 国際社会の動向と日本 国際政治や国際経済の動向、貧困の解消に向けての国際社会の努力について学ぶ。</p>	<p>○定期考査</p> <p>○授業に取り組む姿勢や意欲</p> <p>○ノート、プリント等の提出物</p> <p>○小テスト</p>	

担当者から (授業で努力してほしいこと。守ってほしいこと等)

○学校は「まなぶ」ことをきっかけとする場所です。その「まなび」は授業のみならず普段の生活にも多く関係しています。そのため学校だけでなく日常生活からも物事を考えるという姿勢を持つことを望みます。

○授業中、疑問に思ったことなどがあればどんどん発言して下さい。ともに「まなび」しましょう。